

領域プロジェクト名称	Operational Modal Analysis による診断の研究
担当教員	栗山 幸久 教授
プロジェクトの狙い	橋梁や船舶の診断とそれによる補修は重要であるが、これらは大型であることに加え、入力荷重が風や波浪であるため通常のモーダル解析が適用できない。このプロジェクトでは OMA の各手法の理解と比較を行う。
プロジェクトの内容	OMA の手法 (Eigen-system Realization Algorithm / Stochastic Subspace Identification)の勉強会を行ない、各手法の比較を行なう。Matlab を用いて OMA のソフトを組み、簡単なモデルへの適用、実データへの適用を行う。
プロジェクト開催場所	本郷
プロジェクト計画	<ol style="list-style-type: none"> 1)Operational Modal Analysis の勉強会 2)Matlab での簡単なソフト作成 3)Matlab で OMA の構築 4)実データの解析
ウェブサイト	